

守谷ボランティア NEWS

2024年10月号 (毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: supportcenter@moriya-cac.org
ホームページURL: <https://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前10時～午後6時 (午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

親子で楽しむピアノ曲 はじめてのクラシックコンサート

ピアノの先生たちが考えた、初めての方向けコンサート。聴いたことのある曲を、やさしく解説を交えて、ソロ、連弾で演奏します。ベートーヴェンの生涯の読み聞かせは、スライドと演奏と共に送ります。

- 日時 10月27日(日)14:00～15:30 (開場 13:30)
- 会場 国際交流研修センター ログハウス
- 定員 先着 100人
- 対象 4歳～18歳
- 参加費 大人 1,000円 ※同伴の子供2人まで無料
- 申込方法 10月27日(日)までにメールで申し込む
- 主催・問合せ先 MPA (守谷ピアノ指導者協会)
☎ 070-7612-8991
✉ mpa2024mpa@gmail.com

オテント落語会「柳亭市寿」

「お天道様がみているよ」その言葉を大事に受け継いできた日本。笑って涙、心打たれて涙。取手市出身、県内に落語を広めようと大活躍の二つ目！柳亭市寿さんのお囃で、お天道様のように心をスカッと晴れやかに！

- 日時 10月31日(木)11:00～13:00
- 会場 いこいの郷 常総 多目的ホール
- 定員 30人
- 参加費 2,000円
- 申込方法 QRコードまたはメールから申し込む
- 主催・問合せ先 街町リノベーションもりや
✉ machi2reno@gmail.com



映画会

ばけますから、よろしくお願ひします。
～おかえりおかあさん～

- 日時 11月17日(日)
 - ① 9:30 (9:00開場)
 - ② 13:30 (13:00開場)
- 会場 守谷市中央公民館 (もりん中央) ホール
- 定員 各 350人
- 参加費 500円
- 申込方法 QRコードから申し込む
- 主催 守谷市文化協会「映画・講演の会」
- 問合せ先 yuan28003@gmail.com (原)



落語口演 笑うが一番 カラダにいい!

笑いの力で身体を元気にする口演です。生の落語の魅力をお楽しみください!

- 日時 11月30日(土) 13:30～15:00 (開場 13:00)
- 会場 市民交流プラザ市民ギャラリー
- 定員 先着 100人
- 参加費 無料
- 出演 古今亭志ん輔師匠 (落語家)
- 申込方法 10月17日(木)～11月22日(金)までにQRコードから申し込む
- 主催・問合せ先 市民活動支援センター



登録団体活動情報 10月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日 10:00～12:00	川畑 090-6500-0266
守谷駅前クリーンズ 守谷駅前ゴミ拾い	守谷駅西口広場 (階段下集合)	第3(日) 9:00～10:00	会田 090-3335-7227 ✉ aida104302@yahoo.co.jp
フォトクラブ写遊 写真展、撮影会の開催	北守谷公民館 (5～9月) 中央公民館 (10月以降)	第4(土) 9:00～16:00	金澤 080-5508-6081

助成金情報

* 内容は変更になる場合があります。
各HPをご確認ください。

環境	～10/31 第34回コメリ緑資金助成 コメリ緑育成財団 https://www.komeri-midori.org/
医療・福祉	～11/1 2025年度 日本郵便 年賀寄付金助成金 日本郵便株式会社 https://www.post.japanpost.jp/index.html
社会教育	～11/19 令和7年度子どもゆめ基金 国立青少年教育振興機構 https://yumekikin.niye.go.jp/

豆コラ

「Live119」とは、119番通報の際に通報者のスマートフォンを使って、災害現場の状況を動画で伝えるシステムです。利用するには、①119番通報 ②通信指令員から映像送信の協力依頼 ③通報者に映像送信用URLが届く ④URLをタップし専用ウェブサイトへアクセスといった手順になります。消防局によると、心肺停止状態の人への応急処置の方法や、通報者のいる場所がわからないときに、映像で特定するなどのケースがあったそうです。通報者と消防側、双方にとって、より正確に情報を伝えられるのがメリットです。しかし、現時点では33都道府県のみ導入で、さらにその中の722の消防本部中143カ所しか利用できないとのこと。また指令員の確保や撮影者が野次馬と間違えられるといった課題もあるそうです。センター職員全員が普通救命講習を受講しています。その講習に「Live119」体験も加えて認知度を上げてほしいです。



こんにちは！守谷のボランティアさん

～小花火の日実行委員会の活動取材しました～

2024年8月18日(日曜) 19時00分～21時00分 @市役所駐車場

小花火の日実行委員会代表の及川さんは大学生。手持ち花火の開催を企画。

令和5年度守谷市民提案型事業発表会で「夏休みに思い出小花火」を市長の前でプレゼンをしました。これは手持ち花火をする場所がないなどの理由から提案。市民アンケートからもニーズがあることを伝え、見事に採用されました。



本番に向けての活動開始です。まずは「プレ小花火の日」を同年の夏休みに行いました。会場は常総運動公園駐車場です。まだ団体を立ちあげていな



かったため及川さんの友達やセンター職員がお手伝い。終了後の振り返りでは課題と需要があることが再確認できました。

さあ団体設立です。

メンバーはSNSを使って募集。自身が参加した成人式で告知をした結果、大学生14名、高校生4名が集まりました。

センターの登録団体では初めてサークル型卒業制度を取り入れており、学生のネットワークを生かした次世代に繋ぐ工夫をしています。

6月から学業の合間をぬっての会議を重ね、準備し、いよいよ当日です。



<線香花火タイムレース>



<浴衣を着た可愛い姉妹>



会場にはローソンの出店があり、音楽も流れ、お祭りのようでテンションがあがります(笑)。

駐車場車1台分のスペースがひと家族分で、1台空けて隣の家族分と、安全面からも良く考えられています。さらに手持ち花火は各自持参し、ゴミを持ち帰るといった徹底ぶり。みんなで楽しむ「打ち上げ花火」や「線香花火タイムレース」のプログラムもありました。予算をかけないイベント開催は、学生ならではのアイデアが詰め込まれていました。



参加者アンケートでは「花火ができる場所が少ないのでありがたい機会でした。」「夏休み中に友達と一緒に花火ができていい思い出になった。」「大学生と高校生のボランティアが主催と聞いて驚いた。」などの意見がありました。

募集人数100人のところ300人超えの申し込みがありました。来年度は「規模拡大」を検討中とのこと。こどもの頃の思い出は大人になっても忘れられません。来年は希望者全員が参加できるように期待しています。

現在センターには105団体のボランティア団体が登録しています。団体のお悩みNo.1は構成員の高齢化です。小花火の日実行委員会の若い力と各団体の経験値を合わせたコラボイベントができると良いですね。

<市民活動支援センター>